# logicool





# ダウンタイムを最小限に 抑えて、ROIを最大化。

ロジクールサービスで、最新のコラボレーション ソリューションを強化し、最適化しましょう。

## コラボレーション エコシステムを効果的に管理することが かつてないほど重要になって きています

組織全体でコラボレーション テクノロジーの需要が高まっていることはよく知られています。今日、企業の76%が、ビデオ対応のコラボレーションを、テクノロジーの優先事項のトップ3として挙げています'。



しかし、これらのソリューションがオフィススペース全体 に普及し、その役割がより重要になるにつれて、ソリュー ションを適切に保守し管理する必要性も生じます。

コラボレーション テクノロジーを活用する場が拡大し、 会議スペースがますます広範に利用されるようになる中、 組織は、その推進するテクノロジーを、単に利用可能にす るだけでなく、最高の投資収益率を実現するように最適化 していることを確認する必要があります。

#### 回答は?

企業がさまざまなスペースで高まるテクノロジーニーズ を管理するのを支援するカスタムサービスソリュー ション。 近年、このような状況におけるサービスプランの認識は、付加的なものから基盤となるものへと変化しています。

IT部門が直面する需要の増加に伴い、企業は定期的なメンテナンスとトラブルシューティングの負担を軽減するソリューションを必要としています。彼らは、戦略的優先事項に集中し、企業の業績向上につながる十分な情報に基づく意思決定を行うためのサポートとリアルタイムの洞察を必要としています。

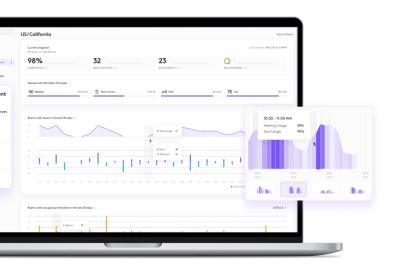
多くの企業がコラボレーション テクノロジーの利用を拡大させている中、本ホワイトペーパーでは、ロジクールサービスが、特定のビジネスニーズに基づいてこれらの投資の価値を保護し、最適化できる方法について説明します。



### コラボレーション テクノロジーのメリットを最大限に活用

適切なコラボレーション テクノロジーを使用することで、会議を簡単で質の高いものにし、生産性を向上させることができます。

特に、柔軟な働き方をサポートするように設計された統合エコシステムの一部として。しかし、こうしたソリューションが組織全体に普及するにつれ、その使用方法を最適化し、その価値を最大限に引き出す方法を検討することが重要になります。以下は、コラボレーションテクノロジーが最善のビジネス成果をもたらすために、ビジネスリーダーとIT部門が重視すべき主要な領域です。





### 1. 積極的な監視とリアルタイムのアラート

リアルタイムのアラートにより、機器に問題が発生した場合の影響を最小限に抑えます。IT部門は、事前にデバイスの問題に対処し、中断を最小限に抑えてスペースをスムーズに稼働させることができます。さらに、リモート監視と管理によって、ソフトウェアの更新をタイムリーにデバイスに適用し、デバイスを最高の状態で稼働させ続けることができます。

### 2. ダウンタイムを最小限に抑えるための、信頼 できるバックアッププラン

偶発的な故障、ユーザーエラー、または技術的な障害であっても、ダウンタイムは、どれほど計画を立てていても発生します。組織は、中断による金銭的および運営コストを避けるために、確固たる運用プロセスを導入して、機器の障害や保証期間外のデバイスの影響を最小限に抑える必要があります。

### 3. データを活用してスペースの最適化を促進

会議室の使用状況など、コラボレーション テクノロジーから得られる洞察によって、組織は会議スペースの使用状況を分析し、結果としてより良い意思決定を行うことができます。これには、スペースを十分に活用されていない原因となる問題の理解と対処、新しいテクノロジーのニーズから不動産要件の拡大に至るまで、戦略的投資決定のサポートが含まれます。



### ロジクールサービスでスペースを改善し、従業員の業務効率を高 めましょう

ロジクールサービスは、コラボレーションテクノロジーを強化し、以下の3つの主要な領域にまたがって企業とIT部門が 直面する課題に対処することを目的としています。

### デバイス管理

- ❷ ロジクール Syncを使って、接続されたデバイスを一元管理。
- リモート診断、デバイスへのリモートアクセス、およびリモートで更新を適用する機能を利用できます。
- ※ デバイスの問題を監視し、対応するための即時アラートを受け取ることができます。
- ❷ ServiceNowなどのプラットフォームと簡単に連携して、チケット発行と管理を簡単にします。

#### スペース管理

- ⊘ 専用の会議室およびデスク予約ソリューションを利用可能。
- ⊘ スペースをより適切に利用し、コラボレーション環境を最適化するための洞察を得ることができます。

### 保証範囲とサポート

- ◎ いつでも、どこでも、24時間年中無休のグローバルサポートで課題を解決できます。
- ❷ 翌営業日\*の交換とオンサイトスペア\*\*により、ダウンタイムを最小限に抑えます。
- ❷ お客様の技術関連の連絡窓口として、専任サービスマネージャー\*\*をご利用ください。お客様のアカウント内のすべてのアクティビティを管理できます。
- \*ご利用になれない国と地域があります
- \*\*50室以上のライセンスまたはEnterpriseプランをご利用のお客様が対象です

### あらゆるビジネスニーズに合わせたオーダーメイドのサービスプ ラン

3つのサービスプラン(Basic、Essential、およびSelect)が利用可能です。お客様の現在のニーズに最適なプランをお選びいただけます。しかし、その判断はどうすればよいのでしょうか?その答えは、現在の環境と将来の計画を正しく把握することにあります。デバイス管理、スペース管理、保証範囲とサポートの観点からニーズを分析することで、主な考慮事項を確認して、コラボレーションのニーズに最適なプランを選択できます。

### 現在および将来のビジネスニーズを理解する

長期的計画を戦略的に立てる時は、ビジネスの現時点でのニーズだけでなく、将来の要件も考慮する必要があります。ビジネスの潜在力を評価し、現在の能力と成長の機会を判断する必要があります。

### デバイス管理のニーズを明確にする

サービスプランを選択する際の主な考慮事項として、デバイス管理があります。リアルタイム監視、リモート更新機能、自動アラート、洞察がデバイスの状態とパフォーマンスにとって重要である場合、EssentialとSelectを検討する必要があります。ロジクール Syncを利用すれば、IT部門はどこにいても、デバイスのパフォーマンスを追跡し、会社全体のあらゆる課題に対処できます。

### スペース管理のニーズを考慮

ワークスペースを効果的に管理することは、シームレス な従業員体験を実現し、職場の効率を最適化するために 極めて重要です。 会議室の予約を簡単にできるよう効率化することが主な目標である場合、EssentialとSelectサービスプランは、スペースを効果的に管理するのに役立つツールを提供します。プランには、会議室とデスク両方の予約ができるソフトウェアが含まれ、カスタマイズ可能なオフィスマップを作成する機能も含まれます。

また、最大限の効率性とコラボレーション テクノロジー のROIを実現するためのスペースの最適化をサポートする 重要なデータも提供します。これらのツールを駆使する ことで、従業員の体験を効率化し、組織のプロセスを強化できます。

### 保証範囲とサポート

ダウンタイムを最小限に抑えることが組織にとって最優 先事項である場合、Selectプランが最適な選択肢です。

24時間年中無休のグローバルサポート、迅速な製品交換、専任サービスマネージャー(50を超えるライセンスまたはエンタープライズプランをご利用の場合)により、お客様は、どのような問題でも迅速かつ効率的に解決することができます。





### どのサービスプランがお客様に最適ですか?

ロジクールサービスプランは、コラボレーション エコシステムにおける最も一般的なニーズに対応する幅広い選択肢を 提供します。完全なサービスサポートが必要な場合でも、多少の追加サポートが必要な場合でも、あるいは会議室とデス クの予約やデバイス管理などの時間を節約する機能が必要な場合でも、それぞれに最適なサービスプランがあります。



### ロジクール Basic

すべてのロジクール製品に含まれてい るBasicサービスプランでは、デバイ スの監視とトラブルシューティングに 必要な標準ITツールをご利用いただけ ます。ロジクールの法人ビジネス向け 製品をご購入いただくと、お客様は自 動的に当社のBasicサービスプランが 適用されます。

### 以下は、製品ご購入後すぐ無償で、 ご利用になれるサービスの内容です:

- ✓ 平日の営業時間内のテクニカル サポート(多言語対応)。1営業 日以内に対応
- 2年間の無償保証
- ✓ ロジクール Syncでの基本的なデ バイス管理
- 基本的なデスク予約機能

小規模ビジネス、または主にオフィ スを使用している場合は、Basicサ ービスプランが適切なオプションに なる可能性があります。ただし、複 数の会議室を管理している、また は将来の拡張を計画している場合 は、EssentialまたはSelectをぜひご 検討ください。



### ロジクールEssential

Essentialプランには、Basicプランの 全てのサービスに加えて、IT部門が 会議室、フレックスデスク、および デバイスを効率的に管理できる高度 なソフトウェアツールが含まれてい ます。

### このプランでは以下も利用可能 です。

- 🗸 会議室の予約
- → オフィスのナビゲーション マップ
- ✔ スペースとデバイスの使用状況 に関するインサイト
- リアルタイムの電子メールア ラート
- ✓ ServiceNow連携
- ✓ SyncリモートUIアクセス

Essentialは、デバイスの管理と導入 を高度に制御できるように設計され た堅牢なソフトウェアソリューシ ョンを提供します。これは、パー トナーまたは販売代理店とサポート 契約をすでに持っているユーザー、 または社内に導入タスクを管理する 能力があるチームにとって良い選択 です。



### **○** ロジクールSelect

Selectは、最大限の保証とサポート を誇る当社のプレミアムサービスプ ランであり、コラボレーションの妨 げとなるものを取り除くように設計 されています。

### Essentialの高度な機能がすべて含ま れ、さらに以下も含まれています:

- ✓ 24時間年中無休のTier 2サポート (1時間以内に対応)
- ✓ 最長5年間の製品保証
- ✓ 翌営業日の製品交換\*
- ✓ オンサイトスペア\*\*
- ✓ 専任のサービスマネージャー\*\*
- \*ご利用になれない国と地域があります
- \*\*50室以上のライセンスまたはEnterpriseプランをご 利用のお客様が対象です

ロジクール Selectは、導入した製品 の管理について追加サポートが必要 な組織に最適です。迅速な応答と迅 速な製品交換により、効率性が高ま り、ダウンタイムが最小限に抑えら れます。これによりIT部門は、日々 の課題を管理しながら、戦略的な取 組みに集中することができます。



### 柔軟なライセンスオプション

会議室、デスク、または両方を対象にしたい場合、ロジクールは以下のようなカスタマイズされたライセンスオプション をご用意しています:

### 単一の会議室とデスク用の個別ライセンス

1つの契約内で、あらゆる場所の会議室またはデスクスペースを包括的にカバー

- ⊘ 100室以上の会議室を持ち、拡張を計画 しているユーザーに最適です。
- 受 異なる終了日の複数の契約を管理する企業 にとって価値があります。

#### まだ不明な点がありますか?

組織に最適なプランを選択するには、会社の主なニーズを特定する必要があります。<u>このインフォグラフィック</u>は、 意思決定のツールとして機能し、プロセスを進めるための指針となるはずです。各ステップに従うことで、お客様の ビジネスに最適なサービスを特定できるようになります。

#### コラボレーション テクノロジーの保護と最適化を今すぐ

組織全体にビデオコラボレーションデバイスを追加したら、今こそ、企業、従業員、およびIT部門の利益のために、 その価値を保護し、最大化する時です。適切なロジクールサービスプランを選択することで、IT部門の能力と従業員の 満足度を高めながら、日々の課題を簡単に解決し、ダウンタイムを最小限に抑えられます。



ロジクールサービスが、あらゆるビデオコラボレーションソリューションにおいて、安心感と最大のROIを実現する方法をご覧ください。

お客様のビジネスに適したサービスプラン について、今すぐお問い合わせ ください。

1.「ロジクール Rally Bar Huddleのファーストインプレッション」、Wainhouse Research、2023年。

### **logicool**, for business

### 購入前のお問い合わせ:

株式会社ロジクール https://www.logicool.co.jp/ja-jp/ business/contact-b2b.html

#### 購入後のお問い合わせ:

株式会社ロジクールカスタマーリレーションセンター https://prosupport.logi.com/ ©2024 Logitech, Logicool. 株式会社ロジクールは、Logitech Groupの日本地域担当の日本法人です。ロジクール、Logicool、ロジクールロゴは、米国およびその他の国おける、Logitech Europe S.A.および/またはその関連会社の商標です。その他のサードパーティ商標はすべて、それぞれの所有者の財産です。ロジクールは、この出版的に存在する可能性のある誤記に対して一切責任を負うことはありません。本書に含まれる製品、価格設定および機能情報は、予告なく変更される場合があります。

発行:2024年11月